ふたば

１１月号　　№386

学校だより　　平成　２９年　１０月　３１日
ホームページ http://futaba.shibata.ed.jp
学校宛メール master@futaba.shibata.ed.jp

校　歌　に　思　う

校　長　　長谷川　恵

校歌

真島　武　作詞
石川和男　作曲

一　空は雪晴れ　きらめいて
寄せ来る飯豊　二王子の
光を窓に　受けとめる
輝け母校　ああ二葉

二　堤を埋める　加治川の
国花の桜　紅に
中田の天地　染めて咲く
薫れよ母校　ああ二葉

三　呼べば応える　喜びの
声が右から　左から
湧いて未来の　戸を叩く
轟け母校　ああ二葉

四　空は夕映　バイパスを
挟んで稔る　稲の田の
地平に虹が　弧を描く
栄えよ母校　ああ二葉

これは、二葉小学校の校歌です。１学期の始めには、新入生も覚えるために毎朝、元気な声が聞こえてきました。歌詞の内容からは、番ごとに情景や思いをイメージできることに気付きます。

（１番の歌詞）

○　大いなる飯豊連峰や二王子山が真っ青な晴れた青空をバックに雪で光り輝いている。その輝きを校舎の窓が受け止めて校舎が輝いている。さんさんと輝いている美しい二葉小学校だ。

・・・「雪晴れ」から冬を表現している。

（２番の歌詞）

○　加治川の堤防に桜並木が見事に咲き誇っている。それが、中田の地域にあって桜色に染めていることが香しく感じられる。まるで桜の薫りがただよう二葉小学校だ。

・・・「桜」から春を表現している。

（３番の歌詞）

○　自分と仲間が勉強や活動の中で、声を掛け合い、応えあっている様子がとても楽しく喜びに感じる光景だ。それが、一人一人のたくましい成長となり、自分自身の将来をつくっていく。校舎中に声を響かせよう。

・・・「轟け」から雷鳴を想像し、夏を表現している。

（４番の歌詞）

○　夕焼け空のもと、豊かに実った稲の穂が、光り輝いている。もし、虹がそこに架かったならば、一層水田が幻想的に夢のある素敵な情景となるだろう。二葉小学校が繁栄していくことを願っていこう。

・・・「稲」から秋を表現している。

こうして、自分なりに解釈を深めていくと、１番から４番までは、冬→春→夏→秋の順番に並んでいることに気付きます。これは、実りの秋に向け一年を通して、子どもたちの成長する姿が表されているのだと思います。また、校舎の情景表現は、子どもたち自身の成長の表現であり、子どもの成長を願う意味がそこには隠されているのだと考えます。

この校歌は、中井小学校と島塚小学校が統合して１年後である昭和４１年度の１月２３日に校旗、ステージ幕のお披露目とともに発表されました。統合は、昭和４０年度に行われましたが、最初は、新校舎の完成状況から、高学年だけの入校となり、しばらくは、中井分校、島塚分校という形で３校舎制だったそうです。そして、新校舎がやっとできたにもかかわらず、４１年の７月と４２年８月のダブル水害に地域ごと見舞われ、たいへんな思いをしました。そのような中での校歌の完成は、喜びや復興の励みになったに違いありません。私たちは、この校歌の意味をかみしめながら、元気に豊かに歌い継いでいこうと思わずにはいられません。

10/15 二葉フェスティバル（学習発表）

当校ホームページ「学校だより」では，カラーで見ることができます。

【６年生…力強い木遣りで開会】

【１年生…迫力の寸劇】

【３年生…オリジナル・キャラ登場】

【４年生…音楽交歓会へ向けて】

【２年生…躍動ダンス】

【５年生…一人一人が思いを語る】

二葉フェスティバル（講演会・バザー）

【親子防災講座…ふれあいを通して学ぶ】

【ＰＴＡ学年委員…総出で仕入れ，準備，交換】

【二葉サークル…今年も大繁盛】

【おやじの会…ＯＢが多数応援に】

焼き芋

10 月 27 日（金），二葉ネットをはじめとする地域の方々10 名にお越しいただき，薫炭での焼き芋を行っていただきました。１年生は，生活科で育てたサツマイモを新聞紙とアルミホイルに包み，籾殻の山に置きました。中までよく火の通った焼き芋に大喜びの子どもたちでした。